

平成 27年 06月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

岡山安らぎの家

グループの名称

岡山家づくりの会

直近採択グループ番号

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

黒田 誠

代表者印

代表者所属先

黒田木材商事株式会社

代表者構成員番号

II-18, III-18, IV-18, VII-18, VIII-18, IX-18

代表者所在地

福岡県糟屋郡須恵町大字植木2047番地の73

代表者電話番号

092-936-5505

(グループ事務局)

事務局事業者名

黒田木材商事株式会社 岡山支店

事務局構成員番号

IX-1

事務局担当者名

柳田 洋一郎

印

事務局郵便番号

811-2112

事務局所在地

福岡県糟屋郡須恵町大字植木2047番地の73

事務局電話番号

092-936-5505

事務局FAX

092-935-1925

事務局担当者E-mail

kennanpre@cup.ocn.ne.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	岡山安らぎの家
2. グループの名称(必須)	岡山家づくりの会
3. 直近採択グループ番号(必須)	—
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	岡山県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	黒田 誠
7. グループ代表者の所属先(必須)	黒田木材商事株式会社
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	II-18, III-18, IV-18, VII-18, VIII-18, IX-18
9. グループ代表者所在地(必須)	福岡県糟屋郡須恵町大字植木2047番地の73
10. グループ代表者電話番号(必須)	092-936-5505
11. グループ事務局事業者名(必須)	黒田木材商事株式会社 岡山支店
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	IX-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	柳田 洋一郎
14. グループ事務局郵便番号(必須)	811-2112
15. グループ事務局所在地(必須)	福岡県糟屋郡須恵町大字植木2047番地の73
16. グループ事務局電話番号(必須)	092-936-5505
17. グループ事務局FAX番号(必須)	092-935-1925
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	kennanpre@cup.ocn.ne.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	1	
II. 製材・集成材製造・合板製造	4	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	4	
IV. プレカット	2	事業者にて手刻みでの加工がある場合、プレカット事業者を経由しない場合がある
V. 設計	6	
VI. 施工	10	
VII. 省エネルギー設備等の流通	1	
VIII. 木材を扱わない流通	2	
IX. I～VIII以外の業種	3	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	おかやまの木で家づくり推進事業	岡山県	合法木材証明	3	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数 (必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店＋未経験工務店の合計 10 戸		地域材加算合計 3 戸	
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計 7 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計 3 戸	地域材加算 (うち申請が確定) 3 戸	地域材加算 (うち申請が未確定) 0 戸
	うち申請が確定 7 戸	うち申請が確定 3 戸		
	うち申請が未確定 0 戸	うち申請が未確定 0 戸		
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計 0 戸		地域材加算合計 0 戸	
	うち申請が確定 0 戸	地域材加算 (うち申請が確定) 0 戸	地域材加算 (うち申請が未確定) 0 戸	
	うち申請が未確定 0 戸			
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計 5 戸	地域材加算合計 0 戸		
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	うち申請が確定 1 戸	地域材加算 (うち申請が確定) 0 戸	地域材加算 (うち申請が未確定) 0 戸	
	うち申請が未確定 4 戸			
	優良建築物			
	うち申請が確定 0 棟	0 m ²		
	うち申請が未確定 0 棟	0 m ²		

E. 平成26年度の執行状況 (H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数 戸	交付申請戸数 戸	竣工済 戸	竣工予定 戸
	木造建築物			
	採択棟数 棟	採択床面積 m ²		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 岡山安らぎの家	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 岡山家づくりの会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	温暖で災害の少ない県であるが、岡山県住生活基本計画による耐震性や快適性・地球温暖化に対応できる長期優良住宅・ゼロエネルギー住宅を供給する。また耐震等級3も推奨する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	岡山県住生活基本計画による高齢者の居住安定確保等、安心安全に生活が出来る木造軸組工法での住宅供給を行っていく。地域材や自然素材・省エネ効果のあるものを活用していく。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	岡山県住生活基本計画によるユニバーサルデザイン・高齢者に配慮したバリアフリー化・ライフスタイルやライフステージに応じたデザインづくりを行っていく。	◎
④①～③の背景	高齢化時代の到来であり、ユニバーサルデザイン・バリアフリー化は必須である。また多様化する県民の居住ニーズにもこたえるためにも上記の内容を行っていく。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	岡山県住生活基本計画の基本理念、誰もが安全・安心・快適を実感できる住生活の実現を目指す	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a. ①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	標準仕様の仮マニュアルを作成しグループ内への配布を行い検討を行う。会議等で意見調整を行いグループ全体での標準マニュアルを作成する。	○
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化	会議等にて資材等調達状況の把握や意見交換を行い、共同化に向けた取り組みを行う。又省エネ機器メーカー等の絞り込みを行いコスト削減等を行っていく。	○
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	グループ内にグリーン化委員会を設け、委員長を流通構成員とする。	○
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	事務局はグリーン化委員長と連携し新商品等の情報収集を行い、会議等にて報告を行う。	○
b. ①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	長期優良住宅・ゼロエネルギー住宅と2つの施工基準のマニュアルを作成し施工基準の整備を行っていく	○
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	検査を行うものは二級建築士又は施工監理技術者・木造建築士の有資格者とする。	○
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	見積書・積算書はお客様の理解できるものを作成し、グループ内での共通化を図っていく。	○
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	グループのホームページ等を作成し、現場の状態や活動内容を公開し消費者の信頼向上につなげる。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 岡山安らぎの家	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 岡山家づくりの会	(結成年) 2015年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	物件ごとに管理番号を設定し事務局にて管理する。診断・点検方法についてはマニュアルを作成し共通化を図る。又住宅履歴の管理サービスを推奨する。	◎
	②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	グループ内で既存住宅状況を確認できるように、メンテナンス・リフォームの履歴を残して整備していく。	○
	③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	現場見学会・問屋等の展示会を通じ、DIY相談会・体験会を実施する。	◎
	④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	事務局主催の会議時に維持管理についての議題を設け、改善点等話し合う。	◎
b	①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	倒産・廃業にて維持管理活動が出来なくなった施工業者にかわり、事務局で選定したグループ内の施工業者へ引き継ぎを依頼する。	◎
	②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	瑕疵が発生した場合のマニュアルを作成し、住宅引渡し時に説明を行う。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入	フラット35Sの活用講習会を行い、積極的に勤める。	○
エ. グループの技術力の向上			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	事務局が中心となり、経験工務店・外部建築サポートにて研修会を行っていく。	◎
	②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	年三回実施とするが、未経験工務店の要望があればその都度事務局が判断し行っていく	◎
	③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	2020年までに全施工店が長寿命・高度省エネ型に対応できるようにしていく。また住まい手が必要とする住環境を整えていく。	○
	④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	会合等で話し合い実現できるプロジェクトを企画・実現していく。	○
b	①省エネ技術講習会への参 加目標人数	施工7名・設計3名、計10名が省エネ技術講習会予定。	◎
	②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	事務局が省エネ技術講習会日程を受講していない構成員に通知し、受講してもらうようにする。一社複数名の講習を進めていく。	◎
c	①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	太陽光発電等を取り入れたメーカーの研修会を行い技術等を習得する。	◎
	②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	住宅のメーカー等の協力を仰ぎ、実証実験を行う。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 岡山安らぎの家	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 岡山家づくりの会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

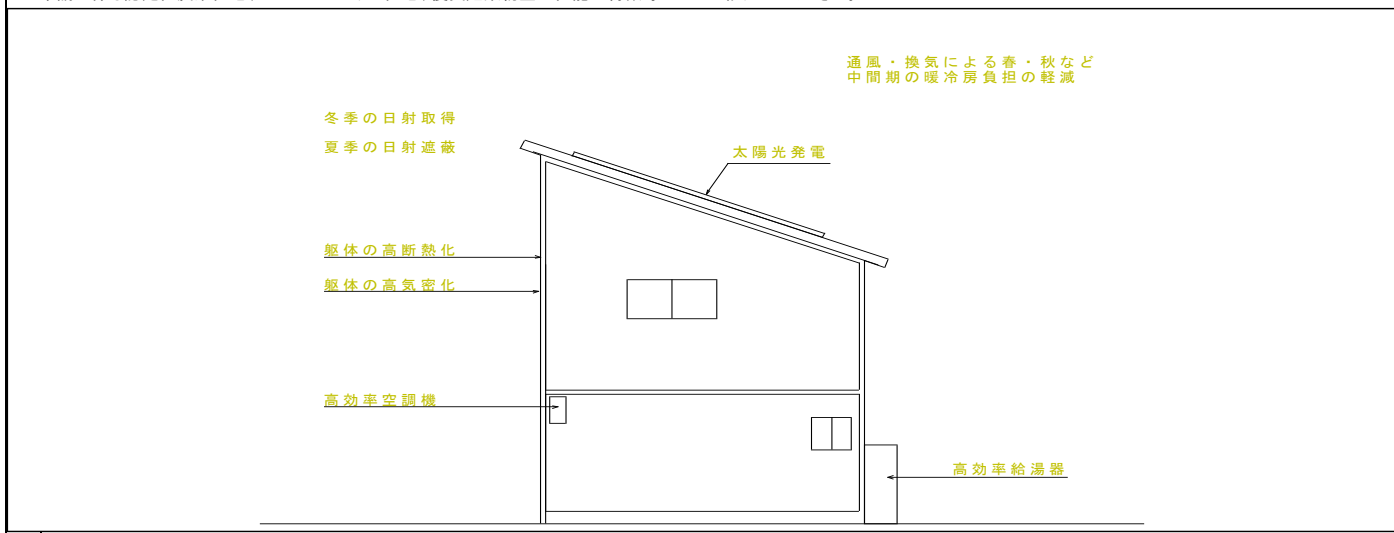
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①地域材ごとの使用部位(必須)	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)	◎
	地域材利用に関する共通ルール(必須)	◎
	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	△
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み	○
	②グループ全体における地域材の需給予測	○
c	①-1 畳の活用	○
	①-2 和瓦の活用	○
	①-3 襖の活用	○
	①-4 障子の活用	○
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	○
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組	○
	②地域の住まい方の継承につながる取組	○
	③地域の街並み形成へ寄与する取組	○
	④和の住まいの要素を取入れた取組	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		

その他

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。